

令和7年度 鹿谷地区市長と語る会 議事要旨

- 日 時 令和7年8月1日（金）午後7時00分～午後8時30分
■場 所 鹿谷まちづくり会館
■出席者 25名
■意見交換会でのテーマ：勝山ICの活用について

1. 市政報告会

1) 市の財政状況について

質問	市の財政は厳しいと聞いているが、応援金115等の事業費はどこからきているのか。
回答	市の財政は豊かではないが、堅実な財政運営を続けている。国の制度の中で、交付金や地方交付税、過疎債等を利用して様々な事業の資金としている。

2) 長尾山Park-PFI事業について

質問	星野リゾートには市からいくらお金を出しているのか。また星野リゾートが開業した際、利潤があった場合いくら市に還元されるのか。市が出資して建設するとしたら相当のメリットがないといけないと思う。
回答	ホテルの建設にあたり市から補助金等を出していない。 これまで長尾山総合公園には指定管理を入れて指定管理料を払っていたが、Park-PFI事業を導入し、市から費用を出さない代わりに収益を上げてもらっても良いという条件で、公園の管理を含めた活用に関して全国から事業者を募集した。それに手を上げたのが星野リゾートや熊谷組等を中心とする企業体である。
質問	これまで市は公園の整備にいくらかけてきたのか。市が投資してきた分はどうなるのか。
回答	長尾山総合公園にいくら投資したかは手元に資料がないので申し上げられない。基本的にはこれまで市が都市公園にかけたお金を回収しようという考えは持っていない。長尾山総合公園は都市公園として多くの方に楽しんでもらう、何より福井県にとっては観光誘客の最大の核となっている県立恐竜博物館を誘致し、その関係で多くの勝山の方が勤める観光産業に従事する、その核として整備しているので、当初からかかったお金をどう回収しようということは考えていない。

質問	市が土地を購入し整備し、星野リゾートがそれを使う。一企業に対して、市の財産を無償で提供するのは理解できない。
回答	この事業に関してはPark-PFIという国の制度に従って公募をして条件を示して行っている。その中で一番良いやり方を模索して進めていることだにご理解いただきたい。
3) 篠尾勝山線について	
質問	篠尾勝山線の全通に関して、数年前から進展がないので状況をお聞きたい。
回答	主要地方道篠尾勝山線改良促進期成同盟会という組織があり、沿線の福井と勝山の県議員や市議会議員、区長も参加している。その中で、毎年話は出ているが現時点で進展はない。トンネルを掘削する事業費は約96億円とかかるのことだったので、私の方から土木事務所長に事業費削減の代替案を提案した。1つはトンネルを短くする案でもう1つはトンネルを使わない案。それでも莫大な費用がかかると報告を受けた。157号の4車線化もスタートすることから県としては勝山市に相当な金額を割いている。今後も土木事務所や福井市と協議・検討を続けていく。
質問	かねてからこの話を取り上げさせていただいている。いろんな課題・問題があるが、解決なくしては地域の発展はありえない。子々孫々、将来の発展のため何とか克服してほしい。必ず地域の発展につながる道路なので、どうか整備着手の道筋を市長につけてほしい。
回答	鹿谷の方々の熱い思いは重々承知している。市ではこの要望を取り下げようとは思っていない。模索をしながら何が一番良いのか土木事務所とも話を進めていきたい。前向きな報告ができなくて申し訳ないが、今後も引き続きご支援いただきたい。
4) 後期高齢者医療保険料について	
質問	国民健康保険の時は自己負担割合が2割だったが、後期高齢者医療保険に移行してから3割負担になった。説明を受けたが、実際に収入は変わらないのに負担割合が増えたことに、やはり納得し兼ねる。国の制度のことにはなるが、何かの機会で国へ要望してほしい。
回答	ご意見があったことは、国会議員等を通じて厚労省または国へ伝えたい。
5) 柿の木の伐採の助成について	

質問	全国各地で熊のニュースが話題になっている。今春、柿の木の伐採の調査依頼があり調査をした。その際に国から助成が近々決定されると聞いたが未だ連絡がない。その後どうなっているか。
回答	国の制度が大きく変わり、今までは熊は保護する対象だったが、ある程度人との共存ができるような数量を管理していく方向になった。それに伴い、国から柿の木の伐採等について支援を受けられるスキームに変わった。それを受けて6月補正予算を出して認めていただいたところ。少し作業が遅れており申し訳ないが、区長方にお知らせできるように、秋には伐採に着手できるように準備をしているので、今しばらくお時間をいただきたい。

2. 意見交換会

1) 勝山ICの活用について

事前質問	勝山市の入口の1つである中部縦貫自動車道勝山ICについて、活用の可能性や鹿谷町の活性化に活かしたい。IC周辺での勝山市の事業計画はないか。また逆に、IC周辺ではどのような法的規制があるか。
回答	鹿谷地区は優良な農地がたくさんあり、農業振興地域となっている。原則として開発するには、農地転用の手続きが必要となる強い規制がかかっている。それに加えて、都市計画の方で、インターチェンジ周辺環境保全地域という規制をかけている。これは、中部縦貫自動車道勝山インターが開通する頃、この地域で望まない開発だけは規制した方が良いという観点で制度を設計している。それに、景観条例や屋外広告物のルールに基づいている。
質問	勝山インターには、勝山に来たというワクワクした感じができないかと思っている。現在、インターを下りた付近に電光掲示板があり、あまり良い恰好ではない。また、規制により難しいと思うが、法面に恐竜の絵や看板があると良いと思う。
回答	電光掲示板に関しては、恐竜博物館が完全予約制に移行した時、予約を取らずに来館する方が多かったため、事前予約を周知するために博物館が設置した。今後渋滞情報も流していきたいと博物館と相談している。見た目は仮設看板的な印象が強いが、そういった目的ということをご理解いただきたい。今回ご意見をいただいたことは博物館にしっかり伝える。 インター周辺の恐竜のモニュメント設置に関しても今後検討していきたい。本来は都市計画の規制により作ってはいけないが、行政の事業に関しては対象外となっている。ただ、民間には規制しているのに行政が自由に作ると説明ができない部分もあるので、度合いを考えながら今後の課題としたい。

2) その他

質問	リゾナーレ福井が完成した時に勝山市民が見学できたり、宿泊の優待券等が出るのか。
回答	今のところ聞いていないが、市民に愛される施設になれば良いと思っているので、そういったご意見があったことも伝えていきたい。
質問	少子化についてお聞きしたい。野向地区や遅羽地区の子どもの人数を見ると、10年後どうなっているか。小学校の存続は難しいのでは。最後の1人になっても地元の小学校に行きたいのだろうか。小学校の再編に関して、基本的なスタンスは地元から要請があった時と聞いているが、その前に市が先手を打つことは考えているか。
回答	おっしゃるとおり、小学校については基本的に地元の意見を優先している。その中で、野向地区は昨年からはPTAと区長会やNPOが小学校の存続に関して議論を始めている。すぐに統廃合という話ではないが、野向地区の子どもたちが小学校に上がる際、野向小学校だけではなく、近隣の村岡小学校や荒土小学校を選択できるようにする制度を導入するか、という話をしている。秋頃には結論を出すようだ。統合に関しては市がもっとリーダーシップをとってやれと言われていているところもあるが、市としては地域の自主性を重要視したい。
質問	既存中学校の跡地活用に関して決まっていることがあれば教えてほしい。
回答	跡地の活用に関して全て決めているわけではない。考え方の一つとして、避難所として中学校の体育館を残すべきという議論があるが、現時点で避難所は確保できているので、避難所としては必ず残す必要があるわけではない。地権者の中には、何に使うか決めてからじゃないと売れないという方もいる。学校用地である間に売却すると税法上の優遇措置が受けられるので、地権者には令和8年度中ということはお話している。跡地の活用について、今後時期を見て皆さん方とご相談するかもしれないが、全ての中学校跡地を公共施設として活用するという選択肢は考えていない。